



リチウム蓄電池等の回収について

大屋 彰(公明党)

令和2年10月13日に、上尾

市西貝塚環境センターの破碎処理施設において、小型充電式電池が原因と考えられる火災が発生し、施設の稼働を9カ月半停止し復旧工事・その間の委託処理費がかかった。

問 本市におけるリチウム蓄電池などの分別回収について。

答 粗大ごみ処理場における破碎作業中や不燃ごみの収集車内などにおける火災事故防止の取組として、不燃ごみではなく有害ごみとして回収している。

問 分別廃棄の重要性について、強力な周知広報が必要と考えるが本市の見解は。

答 市報「ぎょうだ」で定期的に市民の皆様へ周知を図り、衛生協力会連合会の広報誌「美しいまち」でも周知にご協力いただいている。

今後、市ホームページや市公式LINEなどを通じ、更なる周知を徹底していく。

【その他の主な質問】

○認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

○移住・定住の促進について



新たな市民の足＝乗合型オンデマンドタクシーの詳細について

村田 秀夫(日本共産党)

問 来年1月から始まる乗合型オンデマンドタクシーはどのように運行されるのか。

答 現行のデマンドタクシー、利用の少ない市内循環バス3路線を廃止し、来年1月6日からの実証運行に向け、昭和タクシー(株)と調整を行っている。運行区域は市内全域で、乗り降りは自宅と指定乗降場所で行う。4台の車両(定員合計24名)で、年末年始、日曜日を運休とし、7時30分から18時30分まで運行する。

問 市民生活に大きく影響するが、市民への広報や説明は。

答 市報で詳細に案内し、また市民説明会の全公民館での開催等を行い理解に努める。

問 3月には市内循環バスが廃止される。以前より便利になったと市民に実感されるよう利用者の声をよく聞いて。

答 利用者や市民へのアンケート調査を実施するなど運行内容の検証を行い、必要に応じて見直しを行っていく。

【その他の主な質問】

○高齢者等へのゴミの戸別収集について



行田市のスポーツ振興と新スポーツ導入の可能性

新 諒平(令和研究会)

問 行田市のスポーツ振興の現状と課題は？

答 市民が健康で生きがいを持って暮らせるよう、スポーツレクリエーションの推進、スポーツ施設の整備・充実、指導者の育成を進めている。しかし、施設の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が課題となっている。

問 行田市を「パデルのまち」としてブランディングする可能性はあるか？

答 パデルはテニスとスカッシュを組み合わせたスポーツで、ヨーロッパを中心に急速に普及している。しかし、行田市ではパデルのまちとしてのブランディングについては考えていない。

問 スポーツを産業として捉え振興する考えはあるか？

答 行田市では、スポーツを健康促進やレクリエーションとして捉えており、産業としての振興は現段階では考えていない。市民の健康維持とコミュニティ醸成を目的としたスポーツレクリエーションの推進が主な取り組みである。